



議会だより

3月定例会号

令和4年4月28日発行

No.159

こうみ



本間村上団地造成予定地

町のお金はどのように使われます

2

3月議会 ー第1回定例会ー

こんなことが決まりました

4

議案質疑

6

一般質問

8

臨時会（第1回、第2回）・編集後記

14

きかせて みなさんの夢

みなさんの未来に寄り添うまちに

ように使われます

令和4年度一般会計当初予算 37億6,800万円
前年度対比4.5%減

■一般会計（全員賛成で可決）

会計名及び内訳	令和4年度 当初予算	構成割合 %	対前年度当初予算	
			増減額	増減率%
一般会計総額	37億6,800万円		△1億7,800万円	△4.5
・議会費	6,656万円	1.8	△198万円	△2.9
・総務費	7億4,551万円	19.8	1億3,751万円	22.6
・民生費	7億8,223万円	20.8	1,224万円	1.6
・衛生費	3億7,662万円	10.0	△1億4,288万円	△27.5
・農林水産費	1億5,246万円	4.0	△2,175万円	△12.5
・商工費	3億9,356万円	10.4	1,238万円	3.2
・土木費	2億852万円	5.5	△7,315万円	△26.0
・消防費	1億4,630万円	3.9	△401万円	△2.7
・教育費	4億229万円	10.7	△4,309万円	△9.7
・災害復旧費	900万円	0.3	△4,800万円	△84.2
・公債費	4億7,995万円	12.7	△527万円	△1.1
・予備費	500万円	0.1	0万円	0.0

■特別会計（全員賛成で可決）

会計名及び内訳	令和4年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率%
国民健康保険	5億2,800万円	△300万円	△0.6
介護保険	7億1,531万円	2,923万円	4.3
後期高齢者医療	8,159万円	229万円	2.9
水道事業(収益的収入)	9,370万円	△30万円	△0.3

令和4年第1回定例会が3月1日から3月17日までの17日間の会期で開催されました。令和4年度当初予算は2月に町長選挙が行われたため、骨格予算となりました。本格予算は6月定例会での審議となります。

町のお金はこの

令和4年度主な重点事業

総務費

●空家等対策推進事業

440万円

空家バンクの運営、空家の解体、清掃への補助を行います。

総務費

●本間 村上地籍宅地造成

2億1,300万円

37区画程度を予定しています。

民生費

●地域活動支援センター関係費

671万円

地域活動支援センターひまわりの運営を社会福祉協議会へ委託するものです。

衛生費

●新型コロナウイルスワクチン接種関係費用

1,294万円

3回目のワクチン接種を進めるとともに、感染予防の徹底に努めてまいります。

衛生費

●南環新組合設立準備室負担金(新規)

222万円

佐久平環境衛生組合と南佐久環境衛生組合の新しい尿等処理施設準備を進めるための新組合設立準備室に係る負担金です。

農林水産費

●特産品関係

1,205万円

特産品の加工、販売促進に努めて参ります。

商工費

●経営継続支援金

2,000万円

●宿泊者商品券配付事業

500万円

コロナ禍における事業者への経営支援を行います。コロナ禍により落ち込んだ町内の宿泊客の獲得と消費喚起を促進するため、町内で使用できる商品券を宿泊客へ配付します。

商工費

●P-ねっと協同組合補助金

3,180万円

プレミアム商品券の発行事業に助成し、アフターコロナの消費喚起を図ります。

土木費

●道路改良工事

4,200万円

令和3年から引き続き新田小海原線の未改良区間の工事を行います。

教育費

●大学等進学支援金

840万円

大学等進学者に支援金を支給します。

主な歳入予算額

町税

町民税や固定資産税等の税金

5億 6,523万円

構成割合(15.0%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

17億 4,000万円

構成割合(46.2%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

3億 3,834万円

構成割合(9.0%)

町債(町の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

1億 1,580万円

構成割合(3.1%)

こんなことが決まりました

令和3年度一般会計補正予算（第8号） 全員賛成で可決

1億1,611万円を増額補正 総額48億9,210万円

【歳出の主なもの】

●総務費	3,018万円
●衛生費	△4,089万円
●商工費	△4,563万円
●予備費	2億1,462万円

【財源の主なもの】

●地方交付税	1億7,694万円
●国庫支出金	1,168万円
●諸収入	△3,611万円
●町債	△2,760万円

令和3年度 特別会計補正予算（第3号） 全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計 1,866万円減額補正 総額5億3,728万円

令和3年度 特別会計補正予算（第2号） 全員賛成で可決

介護保険事業特別会計 281万円増額補正 総額7億123万円

人事案1件、事件案1件、契約議決案3件、条例案4件、当初予算案5件、補正予算案3件、陳情1件、追加議案として発議2件の合計20件で審議が行われ、陳情1件を除き、すべての案件が可決・同意されました。
一般質問は、5名の議員により行われ、町の考えをいただきました。

人事案

固定資産評価委員会委員の選任同意について

中島厚一氏（馬流）が全員賛成で同意されました。任期は令和4年3月9日から令和7年3月8日までです。

契約議決

建設工事請負契約の変更について

令和2年度 農業用施設災害復旧工事中村頭首工の契約金額を812万円増額の9,073万円とするものです。
全員賛成で可決

建設工事請負契約の変更について

令和2年度 農業用施設災害復旧工事中宮下用水頭首工の工期を約2ヶ月延長し、令和4年5月31日とするものです。
全員賛成で可決

建設工事請負契約の変更について

令和3年度 社会資本整備総合交付金事業道路改良工事 新田小海原線の工期を約2ヶ月延長し、令和4年5月31日とするものです。
全員賛成で可決

3月議会 第1回定例会で

事件議決

キャリアフル小海事業レクリエーション施設指定管理者の指定について

5年の指定管理期間が3月31日をもって満了するため、引き続き小海町開発公社を指定管理者として指定するものです。
全員賛成で可決

条例改正

議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

期末手当を0・1月分引き下げる改正と、12月に支給された期末手当の0・1月分を6月支給の期末手当から差し引くという改正です。
全員賛成で可決

特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について

期末手当を0・1月分引き下げる改正と12月に支給された期末手当の0・1月分を6月支給の期末手当から差し引くという改正です。
全員賛成で可決

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に基づき、期末手当を0・15月分引き下げる改正と12月に支給された期末手当の0・15月分を6月支給

の期末手当から差し引くという改正です。
全員賛成で可決

小海町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

新たに大畑に建設している町営住宅を追加するものです。
全員賛成で可決

議員発議

ロシアのウクライナ侵略を強く非難する決議について

全員賛成で可決

中部横断自動車（長坂〜八千穂）の早期実現を求める意見書の提出について

全員賛成で可決し関係機関に意見書を提出しました。

陳情

●えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める陳情書

陳情書
請願者
日本国民救済会佐久支部
支部長 井出 節夫
継続審査となりました。

第1回定例会で賛否が分かれた議案（賛成多数）

○は賛成 ×は反対

(議員氏名)	黒澤	鷹野	篠原	井出	渡邊	的埜	井出	品田	小池	篠原	篠原	有坂
(議案名等)	敦史	文則	哲雄	和人	晃子	美香子	幸実	宗久	捨吉	伸男	義従	辰六
陳情第1号 えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める陳情書（継続審査）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議長職

議案質疑

令和4年度一般会計予算

Q 農業次世代人材投資事業が皆減になっているが、国の制度が変わったのか？

A 新規就農者の事業で1名該当者がいましたが途中でリタイヤし、新年度も予定者がいないためです。

Q 顧問弁護士費用が昨年度から増えていますが何かあるのか？

A 相談件数が増えてきたため、単価を見直しました。

Q 令和3年度と比べてそば粉の収入がかなり増えていますが見直しはあるのか？

A 冷凍そばをリエックスやシャトレーゼ関係で使ってもらえるようになりしました。現在の量では足りないので農家の皆さんに作付を増やしてもらうようお願いしていきたい。

Q 研修会講師謝礼とありますがどういった研修を計画しているのか？

A 職員のスキルアップのための研修で、法令遵守、ハラスメントまた職員の知識を高める研修を予定しています。

Q 憩うまちこうみ事業、移動販売事業の協力隊の後継者は決まったのか？

A ただいま募集をかけていまして、何名か応募があり、面接を行う予定です。

Q チャレンジ支援金で2年目、3年目の事業を継続支援とあるが要綱はそのままか。また何件予定しているのか？

A 今のままでいくが、制度設計を今係で考えているところです。継続のものが6件あります。

Q 個人番号カードの発行がなかなか進まないという話を聞いたが、そこら辺の状況は？

A なかなか進まないのが実情です。国の施策でマイナポイントが多く付くようになりまして、そういったところで多少増えるような気がします。

Q 高齢運転者事故防止補助金とは具体的にどのような補助をしているのか？

A 急発進を防ぐ装置、それを取り付けることへの補助です。1件5万円が上限です。

Q やすらぎ園の大規模修繕工事は具体的にどのような計画か？

A 建設から30年経っていますので4年計画で令和3年度は電気系統を行いました。今後、建物の外壁、屋内配線系統、燃料タンク、オイルタンクの修繕を行う予定です。

Q 保育所の入園募集がありました。未満児でお断りしたケースはあるか？

A 令和4年度の入所希望の未満児は全員入所予定です。

Q 保育所へ年度途中からでも受け入れ可能か？

A 今の状況ですと対応できると考えております。

Q 南佐久環境衛生組合新組合設立準備室はいつから始めるか？

A 南佐久環境衛生組合でのし尿につきましては現在、佐久平環境衛生組合に処理を委託しておりますが佐久

議案質疑

平環境衛生組合の施設が老朽化してきたので今後の処理方法、処理施設の規模等を検討するため令和4年度に準備室を立ち上げ、令和5年度からプラントの建設に着手する計画です。

Q 造林事業について、ほとんど森林組合が引き受けているが他の民間事業者は入れないか？

A 現状、森林組合が全部引き受けています。地拵え、植林、草刈り、苗木を育てることは大変手間と人がかかります。森林組合以外でも受注体制が整いましたら、そちらにもお願いしていきたいと考えます。

Q 観光地等魅力向上森林景観整備事業とはどのような計画ですか？

A 主伐や間伐による景観向上のための森林整備です。

Q 松原町営駐車場用地の購入がうまくいかなかったようですが、今後どうしていくのか？

A 購入する話で進めていましたが、ご家族の意向もあるということで結果

的に購入できませんでした。今後につきましては引き続き借用料をお支払いし、お借りしていきます。

Q 星と自然フェスタは令和4年度どのように進めていくか？

A 具体的には実行委員会で決めていきますが、コロナが収まることも想定した予算となっています。

Q 小海高校を支援する会への補助金の内容は？

A 小海町は地元であるということで30万円に令和元年度末の卒業生数の累計を足した割合の金額を補助しております。使い道は主に班活動（部活動）の補助と1台あるマイクロスバスの更新用の積立に使われています。

Q 小海高校の志願者数が厳しい状況であるが地元としての支援は？

A 似たような軽井沢高校では独自の取り組みやしなの鉄道沿線の中学校へのPR活動を行い、志願者数が増えました。県へPR活動の強化のお願いや地元としてできることは協力支援することが大事だと思っております。

Q 国でエッセンシャルワーカーの処遇改善が挙げられていますが、看護、介護、保育職員の収入引き上げは予算に反映されているのか？

A 民間の保育園ですと処遇がよくないところもあるようですが、南佐久の町村は一般職と同じ給料体系で特別処遇が悪いということはないので反映しておりません。社会福祉協議会につきましては、できる範囲で反映させていく予定です。

令和3年度一般会計補正予算（第8号）

Q 町営住宅（ヒルサイド）の敷地の契約が12月31日までと聞いたが対応は？

A 契約者とのやりとりで3月31日までの認識です。

Q 直売所の指定管理料が大幅に増えた理由は？

A コロナ禍の影響による資材、物価、光熱水費の高騰によるものです。



5名の議員が町政を問いました



一般質問



- ご不明な点は議員にお尋ねください。また正式な記録は町ホームページにある会議録をご覧ください。
- 町のホームページで音声データを聴くことができますので是非お聴きください。



音声配信QRコード

- 9 ページ
介護・看護の福祉事業所への直接支援を …… 的埜美香子
- 10ページ
新型コロナに関する情報提供の更なる充実を …… 黒澤 敦史
- 11ページ
保育士の処遇改善は …… 渡邊 晃子
- 12ページ
森林環境譲与税の積極的適正利用を …… 井出 和人
- 13ページ
子宮頸がん予防接種には丁寧な説明を …… 井出 幸実

○一般質問とは

定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。

問 介護・看護の福祉事業所への直接支援を

答 町長 それぞれのルールを鑑みやらさせていただきます



的埜 美香子 議員

一般質問

問 町長の施政方針で「誰もが幸せを感じ、安心して暮せる」とあるが、その土台は福祉の向上であると思う。選挙で投票の際、重視するテーマに45%の方が医療・福祉を挙げられました。この信毎の調査結果をどう捉えるか。

町長 福祉・医療は行政の基本で幸いにも佐久病院グループというパートナーがあり、年間の支援では済まない大変大きな恩恵もあるかと思えます。できる限りのことはするというところでございます。

問 ケアに当たられている現場の方たちからは労働環境の改善、不安や不満の声もあるが、具体的な考えはあるか。

町長 不満がどこにあるか、届いた声は真摯に受け止め、謙虚に行動に移すということではないかと思っております。

問 国の病院統廃合路線で小海分院、地域医療がどうなるのか。働き方改革が進む一方で、医師や看護師不足問題が夜間などの救急外来閉鎖の事態にまで進んでいる。コロナで現場は大変。介護の現場で

も休みが少なく毎日へとへと。何年働いても賃金は全然上がらないなど苦痛の声でいっぱいです。事業の経営難という問題が、職員の処遇改善に充てられない実態です。

処遇改善なしに、介護・看護・福祉の仕事に就こうと思わないのではないか。例えば原油価格の高騰が施設の経営を圧迫しています。そういった支援はすぐにでもできるのでは。

町長 それぞれのルールを鑑みましてやらせていただきます。

問 「一步先行く小海町」と掲げられた町長としては、ジエングター平等の立場でも先行すべきだと思う。男女雇用機会均等だけでなく、政治、経済、社会全体のあらゆる分野での女性参画の地域の実態がどうか。町の政策決定の場に女性の数を増やすことが大事ではないか。かしこまった形でない女性だけの懇談会を開催してはどうか。

町長 女性の意見をたくさん取り入れられるような形で出来ればと思います。

問 気候危機、環境問題の分野でも町の特徴を生かせる計画を立てていただきたいが。

町長 SDGSに基づいたものを我々も模索し、そういったものを基本理念に町も進めるべきではと考えております。



問 新型コロナに関する情報提供の更なる充実を

答 町民課長 国、県からの情報をなるべく早く伝えます



黒澤 敦史議員

新型コロナウィルス

感染症に関して

問 昨年9月の定例会で、新型コロナと共存しなくてはならない社会において、町民の判断の基になるよう町として正確で十分な情報提供の更なる充実をお願いしましたが、その後、町としてどのような対処をされたでしょうか。

町民課長 自治体向けの説明会において、住民の理解が深まるような資料提供の要望を出しております。

問 大阪府泉大津市の情報提供が良い例だと思えますが、現在の小海町民に対する情報提供が十分であると考えているでしょうか。

町民課長 国、県からの情報をなるべく早く伝えるという考えで進めております。

新型コロナワクチン

接種に関して

問 行政がするべきことは住民が新型コロナを正しく理解し判断ができるよう、正確で十分な情報提供をすること

です。それを基に住民がどう判断するかであって、その判断を誘導するようなことは決してあってならないと思います。今回のワクチンは、人体に実用化するのとは初めてとなる遺伝子ワクチンであり、接種による感染予防効果や中長期的な人体への影響が明らかにされておりません。副反応による将来的な危険性を指摘する専門家もおり、効果と副反応をよく理解した上で、自分で判断することが大切です。町として、ワクチン接種によるリスクをどのように評価し、周知しているでしょうか。

町民課長 町としてリスクの評価は難しいと考えております。今ある情報を基に、接種の判断をしていただくということではないかと考えております。

黒澤議員 私は今の状況下では、急いで子供へワクチン接種をする必要性はないと考えます。もちろんそれぞれの家庭で判断することですが、子供たちの将来を守るため、その親たちが賢明な判断をすることができるよう、正確で十分な情報提供をする体制の更なる充実を急いでいただきたいと思っております。



ワクチン接種会場

問 保育士の処遇改善は

答 町長 改善点見出せれば独自の体制でみていきたい



渡邊 晃子議員

黒澤町長2期目

子育て支援政策について

問 保育園、正規の先生を増やしていくのか。

町長 ニーズにお応えするために、足りなければ増やすことは必然的なこと。しかし、働く理由、基準は真摯に受けとめて頂き、行政も判断をしつかりする形で進めさせて頂きたいと思っております。

問 保育士の処遇改善で奨学金返済支援補助制度の拡充ならすぐ出来る。保育士有資格

者にもぜひ。

町長 検討の余地は大変あるうかと思えます。

問 要望が一番多い高校入学お祝い金への対応は。

町長 現場とよく相談をしてお答えしたいと思えます。

問 児童館の施設増設が長期振興計画で1年遅れ。経過は。

子育て支援課長 現状での増設は費用対効果で難しいです。適地があれば新規で造るとい

うことも考えながら検討を進めて参ります。

移住定住政策について

問 本間村上団地37区画の計画。改めてターゲット、構想を確認したい。

町長 若年層の皆様にご活用願いたいと思えます。ちょっと大きな計画ではございますが、焦らず、慎重に行くことが大事なことから思えます。移住定住の要と確信をしているところでございます。

問 住宅管理は専門分野。責任を持って配置すべきでは。

町民課長 職員が70名程度、どのポジションもしっかりこなすことが大切ではないかと感じております。

問 町営住宅の修繕や点検、計画がしっかりされていないことが12月の質問で分かった。住民の皆さん、民間業者さんともしっかりとお話をし、計

画を立て事業を進めていくべきでは。

町長 お住みの皆さんのリクエストが第一だと思いますので、改めてお聞きをし、実態の調査等々必要かと思えますのでその辺で進めさせていただきます。

渡邊議員 町長は現場の状況をよく見るといふことを再三おっしゃった。町民の声をいろいろ聞いて進めて頂きたい。



小海保育園外観

問 森林環境譲与税の積極的適正利用を

答 町長 納得いく林業施策を積極的に進めます



井出 和人議員

問 森林環境譲与税と森林環境税の違いは。譲与税の利用方法は。

産業建設課長 森林環境税譲与税は国から市町村に交付されているお金です。森林環境税は令和6年から施行され、納税者一人一人から千円ずつ頂く税金です。小海町では森林環境譲与税として、令和2年度1,496万円、令和3年度には1,487万円の交付がありました。金額の算定は私有地である人工林、植林地のうちカラマツ等の人口林の割合50%、林業就業者数割

20%、人口割30%で計算されます。町では林道整備費用として利用しています。

問 森林環境譲与税は荒廃が進む森林整備、積極的な林業振興に利用するべきでは。

町長 林業従事者の皆さんが納得いくような利用方法が絶対必要だと思えます。こうした施策は積極的に進めます。

問 森林管理システムの進捗状況は。

産業建設課長 森林の手入れ

ができない人が今後森林経営を町や森林組合に任せるのか意向調査を進めます。令和2年度に町内のゾーニングを実施し、対象森林の絞り込みを行いました。現在調査を始めます。令和5年度から意向調査を実施し、森林の適正管理制度に基づいて、事業を進めていきます。

おります。

堆肥補助の増額はできないか

できないか

問 野菜価格が低迷する中、生産資材、特に化学肥料の値上がりが目につきます。土づくりのため町では小海コンポースの堆肥購入補助を実施していますが増額できないか。

産業建設課長 土づくり推進事業で小海コンポースの堆肥利用者に対し、トンあたり500円の補助を実施していますが、畜産農家の牛糞堆肥、コンポースの堆肥補助の増額、緑肥種子の補助も合わせて前向きに検討していきたいと考えて



問 子宮頸がん予防接種には丁寧な説明を

答 町民課長 パンフレット等で周知して参ります



井出 幸実議員

問 令和4年度から子宮頸がんの予防接種を積極的に勧奨することになったが、令和3年度の実態を説明してください。

町民課長 平成25年まで定期予防接種が行われてきたが、接種後の副反応に対する安全性を疑問視する声が多く寄せられ、厚生労働省では接種の勧奨は差し控えてきました。町においても積極的な告知はしていませんでした。

問 令和4年度以降は予防接種を町として、どのように考

えていくのか。

町民課長 令和3年11月の厚生労働省の専門部会におきまして、予防接種が積極的な勧奨を妨げる要素はないと確認され、標準的接種年齢が13歳でありますので、対象者50名に4月に個別接種の通知を送ります。

問 予防接種は効果的であると奨励されているが、1万人当たり約9人の方にリスクがあるとも言われています。接種後には法律に基づく救済が受けられますが、やはり対象

者が多感な年齢であります。本人はもとより保護者に十分な説明をしていくべきですが、

町民課長 法定の定期接種でありますので、健康被害が生じましたら、予防接種健康被害救済制度に則って対応して参ります。通知の中で健康被害のパンフレット等を同封して周知を図ってまいります。

問 子宮頸がん検診クーポン券は20・25・55・65歳に発行されているが、年齢的に理由があれば別ですが、30歳を対象にしていただけないか。

町長 慎重に承り、検討させていただきます。

井出議員 小海町は子育てに対する支援が大変厚く、その観点からも検診クーポン券発行に向けて前向きに検討をお願いします。



第一回定例会 予算決算常任委員会からの要望

●ヤングケアラー・ダブルケアラーの実態把握と介護人材不足解消に向けた処遇改善制度の継続を国へ働き掛けられたい。

○町長

包括支援センターやケアマネージャーなどと情報共有した中で、ヤングケアラー、ダブルケアラーの実態把握を行い、介護サービスの提供に繋がるよう努めてまいります。

また全国的に不安視されている介護人材不足解消に向け、処遇改善制度の継続を国へ働き掛けてまいります。

●高校生支援の拡充を図られたい。

○町長

町では現在、高校生に対する支援事業として、定期代1/3を補助する制度を実施しています。

昨今、ICT教育が進み、小中学校では公費により1人1台端末が実現していますが、長野県の高校では端末代は自己負担であるなど、親の経済的負担は以前にも増して増えています。

今後、このような現状に対して、どのような支援が望ましいのか、検討してまいります。

臨時会

令和4年第1回臨時会 1月28日開催

補正予算

◆令和3年度小海町一般会計補正予算(第7号)

1億2,824万円を増額し総額47億7,598万円に。主なものは住民税非課税世帯等への1世帯あたり10万円給付、住民税所得割非課税世帯への1世帯あたり5万円給付。コロナ対応事業で町民応援タクシー利用補助事業、P券・食事券支給(1人あたり商品券8,000円と食事券2,000円分)、宿泊者商品券給付事業の補正です。

全員賛成で可決

令和4年第2回臨時会 3月30日開催

人事案

◆副町長の選任同意について

篠原宏氏(本間川)が全員賛成で同意され、再任となりました。

任期 令和4年4月9日から
令和8年4月8日まで

補正予算

◆令和4年度小海町一般会計補正予算(第1号)

6,229万円増額し総額38億3,029万円に。主なものは、憩うまちこうみ事業を担当する地域プロジェクトマネジャーの赴任。社会情勢不安等による物価高騰に対し、町民1人あたりP券10,000円支給。佐久病院から保健師派遣。小海小学校給食費無償化の補正です。

全員賛成で可決

編集後記

厳しかった今年の冬も終わり春めいてきました。過日行われた町長選挙で激戦を征した黒澤町政がスタートし、骨格予算も承認されました。本間村上団地造成も始まります。また、脱炭素「ゼロカーボンシティ」構想も発表しました。町内でのエネルギー活用も進めるとの事です。

コロナまん延防止も解除されましたが、新たに派生型BA・2に進化したウイルスが拡大するとの指摘もあり、まだまだ注意が必要とされます。

またテレビ、新聞等ではロシアによる侵略でウクライナが厳しい状況になっております。

普段、何気なく暮らしている私達ですが、安心安全の大切さを認識するところです。町として町長の公約にもありますように住民が安心出来る町づくりに努めていた、きたい。

(編集委員) 小池 捨吉

編集責任者 有坂 辰六

編集委員長 小池 捨吉

編集委員 的埜美香子

編集委員 篠原 哲雄

編集委員 鷹野 文則